

- 1 修行を積み、ボンノウを断つ。
身心をなやますいっさいの欲望
- 2 こう言ってはゴヘイがあるかもしれない。
誤解を招きやすい言い方
- 3 民事ソシヨウを起こす。
裁判を請求すること
- 4 登録をマツシヨウされる。
けしてなくすこと
- 5 政治家の不正をダンガイする。
罪をあはき責任を追及すること
- 6 先のことだと思ひユウチヨウに構える。
気のながいさま
- 7 数字をラレツするだけでは説得力がない。
連ね並べること
- 8 地震で壁にキレツが入る。
ひびわれ
- 9 『リア王』をホンアンした作品を上演する。
原作の主題を借りて改作すること
- 10 戦時下の生活はコンキユウを極めた。
貧乏で苦しむこと
- 11 事件に関して、シキシヤの見解を聞く。
ものごとをよくわきまえた人
- 12 丹頂鶴が空高くヒシヨウする。
たちよつる
- 13 周囲の人のチヨウシヨウを買う。
空中をとぶこと
- 14 あれこれセンサクされ、不快に思う。
あざけてつわらうこと
細かいところまで調べること

煩惱 語弊 訴訟 抹消 弾劾 悠長 羅列 龜裂 翻案 困窮 識者 飛翔 嘲笑 詮索

「煩」は「悩」わすら(う)
「貨幣」の「幣」と混同しないように
「訴」は「言」うった(える)
「訟」には「言い争う」という意味がある
「抹」には「こする」「こすってけす」という意味がある
「糾弾」
「悠」には「のんびりしているさま」という意味がある
「網羅」は「もらすこと」なくすべてに及ぶこと
「裂」は「割」さ(ける)
「翻」は「調」ひるがえ(す)
「困」は「窮」こ(まる)
「窮」は「乏」きわ(まる)
「見識」は「物事の本質を見通す、優れた判断力」
「翔」には「羽を大きく広げてとびまう」という意味がある
「類」は「冷」た(い)ふ
「詮議」は「話し合って決めること」

- 15 カブキは江戸の庶民の一番の娯楽だった。
江戸時代には「たつ」として日本固有の演劇
- 16 膝には大きなフカがかかる。
ふたんとなること
- 17 計画通り行かずシヨウソウに駆られる。
あせること
- 18 ハッコウさせたバターを使ったお菓子。
細菌などの働きで有機化合物が分解する現象
- 19 トウテツした論理に貫かれた哲学書。
筋道が通り、あいまいなところがないこと
- 20 乱闘のコンセキをとどめる。
あとがた
- 21 フクスイ盆に返らず。
入れ物がひっくり返ってこぼれたみず
- 22 ザセツを知らない人は大成しない。
途中でくじけること
- 23 ボウバクたる風景が広がっている。
広くとりとめないさま
- 24 ドレイ解放のために尽力する。
自由を奪われ支配の下に働かされた人
- 25 向学心オウセイな学生たち。
活力や意欲が非常にさかんなこと
- 26 昔の記憶がヨミガエる。
再び以前の状態を取り戻す
- 27 わからないところを友人にタズねる。
質問する
- 28 傷つくことを恐れカラに閉じこもる。
じぶんを包み保護するもの
- 29 民衆をアオリ、暴動を起こさせる。
そそのかす
- 30 相手の立場をオモンパカる。
よくよく考える

歌舞伎 負荷 焦燥 発酵 透徹 痕跡 覆水 挫折 茫漠 奴隸 旺盛 蘇(甦) 尋 殻 煽 慮

「伎」には「わざ」「俳優」という意味がある
「付加」は「つけくわえること」
「焦」は「焦」あ(せ)る
「こ(が)す」
「酵」は「発酵」起こ(す)菌
「撤回」の「撤」と混同しないように
「形跡」
「覆水盆に返らず」は「取り返しがつかない」
「挫」には「くじける」という意味がある
「漠然」は「はっきりせず、とらえどころのないさま」
「金銭の奴隸」は「金銭に心を奪われている人」
「旺」には「存分に広がる」という意味がある
「蘇生」は「生き返ること」
「訪ねる」は「おとずれる」
「管カク」「地殻」など「殻」と混同しないように
「扇(煽)動」は、「アジテーション」
「慮」は「思慮」など

- 1 商売ハンジヨウを願う。
にぎわい栄えること
- 2 その件は海上保安庁のカンカツ外だ。
権限による支配の及ぶ範囲
- 3 我が身の不幸をレンメンと訴える。
長く続いて絶えないさま
- 4 事故でモウマクが剥離する。
視神経の分布しているまく
- 5 典麗なヒツチで綴られた詩文。
文字や文章の書きぶり
- 6 同僚に仕事のグチをこぼす。
言ってもしかたのないことを言って嘆くこと
- 7 泣いている子どもを母親がホウヨウする。
だきかかえること
- 8 カンキユウ自在のピツチング。
おそいことはいやごと
- 9 グリラの集団行動に文明のホウガを見る。
まごし
- 10 大統領がソゲキされる。
ならいつこと
- 11 故人の友人としてツイトウの辞を述べる。
死者をしのぶこと
- 12 枯れ葉にギタイしている虫を見つける。
他のものに似た形や色をもつこと
- 13 ホソウされた道は散歩に適さない。
道路の表面をアスファルトなどで固めること
- 14 それぞれの事情をコリヨする。
心づかいすること

繁盛 管轄 連綿 網膜 筆致 愚痴 抱擁 緩急 萌芽 狙撃 追悼 擬態 舗装 顧慮

「繁」には「増えてひろがる」という意味がある
 「轄」には「枠がはずれないようにおさえる」という意味がある
 「連綿」は「情緒が深くこまやかで離れにくいさま」
 「網」――訓あみ
 「致」――訓いたす
 「知識」の「知」と混同しないように
 「富を擁する」は「富を所有する」
 「緩」――訓ゆる(い)
 「萌」には「きざし」「めを出す」という意味がある
 「狙」――訓ねら(う)
 「悼」――訓いたむ
 「体制」の「体」と混同しないように
 「装」――訓よそお(う)
 「顧」――訓かえり(みる)

- 15 途上国のキユウジヨウを訴える。
困り果てているじょうたい
- 16 欲望を捨て、テイネンにいたる。
道理を悟る心
- 17 為政者の権威がシツツイする。
信用や権威などをおとすこと
- 18 お化け屋敷を怖がるオクビヨウな子ども。
ちよつとしたことにも恐れること
- 19 事件の全容をホソクした。
とらえること
- 20 万全を期し、セツソクを避ける。
仕上がりはへただが、はやく仕上がること
- 21 著名な哲学者のシサクの跡をたどる。
筋道をたどって考えること
- 22 村長はトクジツな人柄で知られている。
人情にあつく、せいじつなこと
- 23 陰でインビに行われる差別に注意を向ける。
かすかでわかりにくいさま
- 24 ケイベツの眼差しで見られる。
みくだしてばかりのこと
- 25 よく似たソウボウの姉妹。
顔かたち
- 26 音楽は豊かな情操をハグクむ。
成長発展させる
- 27 エーゲ海の輝きにミせられる。
人の心を引きつける
- 28 親友の一言で勇気がついてきた。
感情や考えが生じる
- 29 ミューズは芸術をつかさどる女神である。
支配する
- 30 敵をアザムくにはまず味方から。
だます

窮状 諦念 失墜 臆病 捕捉 拙速 思索 篤実 隱微 輕蔑 相貌 育魅 湧司 欺

「窮する」は「いきづまる」「生活に苦しむ」という意味
 「あきらめの気持ち」という意味もある
 「墜」には「おちる」という意味がある
 「臆」も「おそる」という意味
 「臆面もなく」は「気後れしたようすもなく」という意味
 「催促」の「促」と混同しないように
 「巧」――訓うまい
 「速」――訓はやい
 「思」――訓シヨク
 「篤」には「きまじめ」という意味がある
 「隱」――訓かく(す)
 「輕」――訓アゲマ
 「蔑」――訓アゲマ
 「容」――訓ようび
 「貌」――訓ようび
 「育」――訓イク
 「成」――訓なつ
 「魅」――訓チミ
 「湧」――訓ユル
 「山や川にいる化け物」
 「お湯がワク」は「沸く」と書く
 「掌」も「も」書く
 「首」――訓ウヂ
 「詐」――訓ウソ